

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 4 月 12 日
（2025年）

宮崎県知事 殿

提出者



住 所 宮崎県延岡市大武町779番地8
氏 名 株式会社 高千穂生コン 延岡工場
代表取締役 矢野 智久
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0982-22-7373

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 高千穂生コン 延岡工場
事業場の所在地	宮崎県延岡市大武町779番地8
計画期間	令和6(2024)年 4月 1日 ~ 令和7(2025)年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	その他の製造業(E-32)
② 事業の規模	令和6(2024)年度 生コンクリート出荷数量 15710m3
③ 従業員数	11名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	現場に配達製品(商品)が余って(残って)持ち帰る ➡ 硬化させて中間処理場へ

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長 ➡ 契約 … 産廃収集運搬業者、産廃処理業者

工場長(産廃管理責任者) ➡ 処理の指導

製品(商品)の余り(残り) ➡産廃収集運搬業者、産廃処理業者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	—
	排出量	1944 t	— t
	（これまでに実施した取組） ・顧客に余りが出ないように注文する事を呼びかける。 ・残コンブロックを製作する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	—
	排出量	999 t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・顧客に余りが出ないように注文する事を呼びかける。 ・残コンブロックを製作する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	—
	全処理委託量	1944 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	1944 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	—
	全 処 理 委 託 量	999 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	999 t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		
※事務処理欄			